



2020年11月8日

差枚

-1100枚
-7250発

RANK

C

実戦機種

パチスロ ラブ嬢2、ほか

実戦レポート

好きな台を打つ楽しさよりも、勝利を優先した実戦をしたハズなのに、高設定をいくつも手放して惨敗したのがつい2日前のこと。なぜ、朝イチに選んだ台をもっと粘らなかったのか。回数は少ないけれど設定差のあるボーナスが出ていたじゃないか。そんな無念を引きずりながら迎えたこの日だが、実は今回のホール、実戦に来られたのは約9ヵ月ぶりの事である。しかも、かつての記憶より遥かに大人数の抽選参加者に、まずは驚きを隠せない。以前は月の中旬以降に来ることが常で、「上旬の方に人が多く集まるらしい」という噂は聞いていたが、まさかこれほどとは。

当然、抽選で出てきた数字は「83番」と、似ても焼いてもどうしようもなさそうな番号。しかもオレより後ろにまだ何十人かの列ができているのだから、それだけ本日の営業に期待が集まっているということなのだ。が...、ここら辺がやはりバランスが難しいところで、設置台数を超えようかという人数の中でかなり後方というこの位置、どう考えても苦戦を強いられる未来しか見えない。入店すると、予想通りメイン機種、高設定の投入率が高い機種、根強い人気のある少数台機種などは全て売り切れで、確保できたのはバラエティコーナーの「ラブ嬢2」。一昨日、高設定が入っている可能性があったにも関わらず打つのを躊躇い、結果的にお宝を逃したことへの未練が無かったといえは嘘になるが、この高稼働状況の中での選択としてはまあまあ悪くなかったと思う。

事実、このラブ嬢2はそこそこ良い挙動を見せ、常連のスロッターたちも「どうすか？」と挙動を気にかけてくれるほど。営業中に互い台の情報交換をしてくれる彼らの存在は、非常にありがたい。高稼働+こうした観察力に優れたお客さんが集まるこの状況は、怪しげな台はすぐにチェックされ打たれて、その結果空き台になってしまった台はかなり見込み薄ということになる。なるべくなら、このラブ嬢2が高設定であって欲しいのだが...お昼過ぎまで打った末に、「違うな」と手放すことになってしまった。まあ、これはしょうがない。あの朝イチのわずかな選択肢の中で、残っていたかどうかも分からない高設定を一発で掴むという方が無理な話だ。しかし、前述のように次に打つ台がないのも事実...。好きだからというだけで、空き台の「パチスロ交響詩篇エウレカセブン3 HI-EVOLUTION ZERO」に行くような元気はないなあ。

ということで、残りの時間はパチンコを打ったり、「まだ可能性あるかも」と思えるノーマルタイプを打ったりしたけど、ほぼ何も当たらず終了。で、後で最終結果を調べてみたら...エウレカ3が当りだったのかよ!! 最後まで諦めない方が良かったってか~。パチスロ難しい...